

「健康医療市民会議」
第3回（6月）定例会のご案内

平成20年5月29日

桜からつつじへ、つつじから紫陽花へと季節の移り変わりは速いものですが、皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。「健康医療市民会議」の定例会も、去る4月15日に第1回、5月20日に第2回を実施し、それぞれ100余名のご参加を頂き、当会の主要行事として大きな混乱もなく、つつがなくスタート出来たことは、ひとえに会員の皆様のご支援のたまものであり、今後の明るい見通しを立てることが出来、主催者側としても心強い限りです。

前回（第2回）におきましては、統合医療の権威である渥美和彦先生から、医療は、治療さえすれば良かった時代は終わり、これからは、予防と健康増進はもちろん、身体、精神を含めた包括的に人間を見る医療、西洋医学偏重でなく伝統医療も含めた、真に、統合医療に進むべきというお話とともに、健康医療の問題をお金ばかりで解決しようとする政治への批判もありました。また、名名シリーズの2回目として、岐阜美濃加茂の木沢病院の山田實紘院長からは、患者にやさしいがん治療法であるトモセラピーの紹介をしてもらい、勇気づけられました。自らの患者としての体験に基づいた「医療は患者のためのものでなくてはならない」という信念、患者を待たせないために、採算にこだわらず、非常に高価なトモセラピーの機械を世界で初めて2台も導入されているという素晴らしい病院の姿勢についても聞くことが出来ました。

会場入り口では、前回同様、「健康度自己測定事業」として、希望者にストレス度、血管年齢、肌の若さ、体組成のチェックをしていただきました。

定例会は毎月第3火曜日ですから、6月は17日です。

3回目は、初めて乃木坂にある国際医療福祉大学の施設をお借りします。（一部、砂防会館と案内しましたが、変更になりました。）

6月17日（火）16時～18時
国際医療福祉大学 乃木坂ホール（アミティ乃木坂 B1）
（千代田線乃木坂駅隣接・場所の詳細は別紙にあります）

にて開催します。なお「健康度自己測定事業」は15時より準備しております。

当日の講演予定は次の通りです（詳細別紙）。ご出席をお待ちしております（同封申し込み用紙にて参加、不参加をFAXしてくださるようお願いいたします。）なお、お忙しい会員の方も多量中、奥様その他ご家族、友人が代理で参加されるのも歓迎です。

- 1 講演「元気主義万歳」
デザイナー/プロデューサー 山本寛齋 氏
- 2 名名シリーズ - 3 -
講演「歯科統合医療と Bi-Digital O-Ring Test」
医療法人明徳会会長 歯科医師 福岡 明 氏

講演のご案内

「元気主義万歳」

山本寛斎（やまもと かんさい）氏 デザイナー/プロデューサー

1944年生まれ。71年、ロンドンにおいて日本人として初めてのファッション・ショーを開催。近年は、ファッション・デザイナーの枠を超えプロデューサーとして、93年モスクワ、95年ベトナム、97年インドにてスーパー・イベントを開催。日本国内では、00年岐阜、01年山口きらら博、最近では04年7月、日本武道館にて「アボルダージュ」、05年「愛・地球博」の開幕イベントを手がけられ、これらのショーは累計100万人以上を動員し、熱狂的な支持を集められました。近年では、07年1月13・14日、東京ドームにおいて「KANSAI SUPER SHOW 太陽の船」の監督・総指揮を務め42,000人を動員、前代未聞の大イベントとして大喝采を浴びられました。08年4月、世界の舞台で表現してきた山本寛斎の作品が一堂に会する「熱き心展～寛斎元気主義～」(江戸東京博物館)を開催。08年7月には、サラゴサ国際博覧会ジャパンウィークメインイベント「いのちの祝祭」を実施予定。

東京芸術文化評議会評議員、さらに早稲田大学、国士舘大学、首都大学東京の客員教授を務める等、幅広いジャンルで活躍中。健康に関しては、毎日、早朝日の出を拝み、太陽エネルギーを浴びたりして活力を産み出しながら元気一杯で活動しておられます。

「歯科統合医療とBi-Digital 0-Ring Test」(名名シリーズ - 3 -)

福岡 明 氏 医療法人明徳会会長 歯科医師

先生は五十余年の開業歯科医。三十数年前より歯科臨床に東洋医学的療法を導入し、「痛くない、怖くない、腫れない」治療を目指して客観的データをとりながら研究、実践を重ねる歯科界における統合医療のパイオニア的存在。

三十数年前、深夜に歯痛で来院した患者さんの痛みを止めた治療法が、従来の歯科処置でなく、隣家の鍼灸師の打った針だった体験から、『癒す人と癒される人という理想的な医療の場を作る』という素晴らしさを知ることになった。西洋医学と相補代替医療を融合させた統合医療は患者さんと医者との信頼関係を高めるのに、最も有効な手段である。その中でも、Bi-Digital 0-Ring Test (バイ デジタル オリングテスト) については、自らも癌の早期発見、治療で助けられた経緯もあり、「難病診断の一助ともなり、覚えていれば日常生活でも損はない」と語られている。

なお、本会議榎原世話人代表も癌治療の際お世話になり、オリングの威力を自ら体験しており、正に「論より証拠」です。また、当日オリングテストのデモンストレーションがあります。

健康医療市民会議

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203
TEL:03-5403-7723 FAX:03-5403-7724 Email:Info@kisk.jp HP:www.kisk.jp(工事中)